

徳川美術館

THE TOKUGAWA ART MUSEUM

TEL:(052)-935-6262

〒461-0023 名古屋市東区徳川町

秋季特別展

Autumn Special Exhibition

moji-e-moji —

Words as Pictures /
Pictures as Words

文字が
絵になる、
絵が
文字になる

2018.9.9 Sun ~ 10.28 Sun

開館時間 / 午前10時~午後5時 (入館は午後4時半まで)

休館日 / 月曜日(但し、月曜が祝日の場合は翌火曜日)

観覧料 / 一般 1,400円・高大生 700円・小中生 500円

※20名様以上の団体は一般200円、その他100円割引

※土曜日は小中高生入館無料

主催 / 徳川美術館・名古屋市蓬左文庫・
中日新聞社

協力 / 名古屋市交通局

前売り限定
ペアチケット

販売期間: 8/9(木)~9/8(土)
使用期間: 9/9(日)~10/28(日)

販売金額: 2枚2,300円
販売店: チケットぴあ・全国のコンビニエンスストア



文字の中に猫は何匹？
猫の当て字「うなぎ」 歌川国芳画
和泉市久保惣記念美術館蔵 9/9～10/8



詩歌の世界を身にまとう
紅葉に縞文字模様小袖
J.フロントリテイリング史料館蔵
9/9～10/8



経意を絵にした装飾経の白眉
国宝 平家納経 分別功德品 厳島神社蔵 10/4～28



祝いの歌で飾られた太刀拵
重文 葦手絵兵庫鎖太刀拵 丹生都比売神社蔵



武器に秘められた恋の和歌
国宝 螺鈿時雨鞍 永青文庫蔵

もじえもじ

うに用いて言葉を謎解きさせる判じ絵などの「絵文字」など、日本の絵画や工芸品には文字と絵の幸せな結晶をさまざまに見出すことができます。

本展では、造形的な美しさだけでなく、謎解きの面白さも持ち合わせた知的で楽しい美の世界を紹介いたします。

日本では、文字と絵は古くから互いに密接に関わり合い、時にその境が曖昧になるほどの親しい関係にありました。日本の文字の源流である漢字の装飾体にはじまり、絵画的要素の強い文字である葦手や、文字で描いた仏画・戯画などの「文字

絵」、絵を表音文字のよ



文字と絵の美しい鏡演
重文 葦と酒壺文「壽」字入掛襦紗 興福院蔵 10/4～28



驚異！文字で描かれた仏画
五百羅漢図 加藤信清筆 個人蔵



絵で解くなぞなぞ
勝手道具はんじも下
歌川重宣(2代広重)画 徳川美術館蔵

おもな展示作品と展示期間

- 重文 篆隸文体 毘沙門堂蔵
- 重文 三千仏名宝塔図 富賀寺蔵 10/10～28
- 国宝 平家納経 序品 厳島神社蔵 9/9～10/3
- 国宝 葦手絵和漢朗詠抄 下巻 京都国立博物館蔵 9/9～10/8
- 重文 隆房卿艶詞絵巻 国立歴史民俗博物館蔵
- 重文 塩山蒔絵硯箱 京都国立博物館蔵 10/10～28
- 重文 碓蒔絵硯箱 東京国立博物館蔵 9/9～10/8

会期中一部展示替えがあります。

秋期講座

もじえもじ

各午後1時30分～4時15分
有料・申込制

9/26 四辻秀紀 (徳川美術館 学芸部長)
笠嶋忠幸氏 (出光美術館 学芸課長)

9/27 酒井元樹氏 (東京国立博物館 主任研究員)
吉川美穂 (徳川美術館 学芸部マネージャー)

ギャラリー トーク | 10月17日(水) 午後1時～

記念講演会

日本美術にみる ことばと絵の交響 9/9 午後1時30分～3時
入館者聴講自由(入館料別)
玉蟲敏子氏 (武蔵野美術大学教授)

徳川園 催事

錦を纏う 徳川園紅葉祭
11月23日(金・祝)～12月9日(日)



次回企画展 11月3日(土・祝)～12月16日(日)

特別展
源氏物語の世界
—王朝の恋物語—



企画展
徳川慶勝の幕末維新

